

# 東洋紡株式会社 2023 年度 第 1 四半期決算説明会 質疑応答要旨

日時：2023 年 8 月 7 日（月） 17:00～18:00

場所：WEB 形式

説明者：代表取締役 専務執行役員 管理部門統括 大槻 弘志

本資料中の将来の業績見通し等に関する記述は、現時点における情報に基づいており、当社として保証するものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因により異なる可能性があります。

## Q：足元、石炭価格が下落していく中で、燃料部分の価格転嫁を進めることは難しいか？

A：燃料価格は昨年度、急に上昇したため、燃料価格高騰に対する価格転嫁は一部しかできていない。足元、燃料価格が下落している中での価格交渉は容易ではないが、製品力の強いもの、シェアの高いものなど転嫁できているものもあり、引き続き価格交渉を進める。

## Q：燃料影響を通期でマイナスとしているが、2Q 以降の推移をどう見ているか？

A：昨年度高騰した燃料価格が今年度にも影響している。23 年度 1Q の原燃料影響▲30 億円のうち燃料影響は約▲20 億円。2Q ではマイナス部分は減少し、その後プラスに転じていく見通し。

## Q：セラコン用離型フィルムの 23 年度 2Q 以降の回復をどう見ているか？

A：サプライチェーン全体の在庫調整が本格的に改善するのは、下期からと予想しているが、足元の状況を勘案し、通期見通しは30%増収の見通し。市況が回復してくれば荷動きは早いので、30%増収は可能と見ている。

## Q：“コスモシャイン SRF”の 23 年度の見通しは？シェアは？

A：23 年度通期は、前年度比 20%増収の見通し。当社シェア（液晶 TV 用途）は、2023 年度約 60%と予想している（当社推定）。

## Q：環境・機能材は 23 年度 1Q 営業損失だが、合併会社（東洋紡エムシー株）立ち上げコスト以外の要因として何が当初計画と違ったのか？23 年度 2Q 以降の見通しは？

A：環境ソリューション装置は、受注そのものは活況も、個別の案件ビジネスであり、23 年度 1Q は出荷時期のズレにより販売減となった。不織布マテリアルは、土木・建材などの販売が低調であることに加え、原燃料価格の影響を受けたため苦戦した。2Q 以降は、1Q に発生した合併会社関連のイニシャルコストの減少、環境ソリューション装置の販売寄与、加えて自動車関連製品の回復などにより、改善すると見ている。

以上